

2021年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年12月14日

上場会社名	のむら産業株式会社	上場取引所	東
コード番号	7131 URL https://www.nomurasangyo.co.jp		
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名) 清川 悦男	
問合せ先責任者	(役職名) 取締役	(氏名) 西澤 賢治	TEL 042 (497) 6191
定時株主総会開催予定日	2022年1月28日	配当支払開始予定日	2022年1月13日
有価証券報告書提出予定日	2022年1月28日		
決算補足説明資料作成の有無	：無		
決算説明会開催の有無	：有		

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期の連結業績（2020年11月1日～2021年10月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期	5,068	3.5	316	19.7	324	22.4	205	274.1
2020年10月期	4,898	△2.9	264	△11.9	265	△13.3	54	△69.7

(注) 包括利益 2021年10月期 212百万円 (306.6%) 2020年10月期 52百万円 (△72.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年10月期	147.58	—	17.8	9.8	6.2
2020年10月期	39.45	—	5.2	8.0	5.4

(参考) 持分法投資損益 2021年10月期 ー百万円 2020年10月期 ー百万円

(注) 当社は、2020年8月12日付で普通株式1株につき25株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年10月期	3,468	1,256	36.2	902.79
2020年10月期	3,166	1,054	33.3	757.93

(参考) 自己資本 2021年10月期 1,256百万円 2020年10月期 1,054百万円

(注) 当社は、2020年8月12日付で普通株式1株につき25株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年10月期	424	1	△203	863
2020年10月期	△120	△10	△233	640

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年10月期	—	—	—	8.00	8.00	11	20.3	1.1
2021年10月期	—	—	—	29.00	29.00	40	19.7	3.5
2022年10月期 (予想)	—	—	—	37.00	37.00		24.9	

3. 2022年10月期の連結業績予想（2021年11月1日～2022年10月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	2,511	6.5	144	46.9	142	45.5	86	49.5	61.85
通期	5,260	3.8	334	5.7	331	2.1	206	0.6	148.46

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年10月期	1,546,250株	2020年10月期	1,546,250株
② 期末自己株式数	2021年10月期	154,625株	2020年10月期	154,625株
③ 期中平均株式数	2021年10月期	1,391,625株	2020年10月期	1,391,625株

(注) 当社は、2020年8月12日付で普通株式1株につき25株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年10月期の個別業績（2020年11月1日～2021年10月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期	4,274	3.4	266	3.9	276	1.8	186	1.7
2020年10月期	4,134	△1.6	256	23.7	271	32.6	183	36.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期	133.99	—
2020年10月期	131.80	—

(注) 当社は、2020年8月12日付で普通株式1株につき25株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年10月期	3,294	1,376	41.8	988.86
2020年10月期	3,014	1,193	39.6	857.59

(参考) 自己資本 2021年10月期 1,376百万円 2020年10月期 1,193百万円

(注) 当社は、2020年8月12日付で普通株式1株につき25株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 2022年10月期の個別業績予想（2021年11月1日～2022年10月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,102	8.1	124	58.9	83	56.6	60.33
通期	4,430	3.6	275	△0.2	186	△0.1	133.82

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(表示方法の変更)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の流行により企業活動の制限や個人消費の低迷など社会・経済活動の停滞を余儀なくされ、依然として厳しい状況となりました。ワクチン接種をはじめとする感染対策の効果や海外経済の回復により、景気の改善の兆候は見られ、感染者数の減少傾向も認められるものの、感染再拡大による景気の下振れリスクは残っており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要取引先であるコメ流通業界におきましても、少子高齢化による人口減や食の多様化により国内のコメの消費量が毎年減少傾向にある中、新型コロナウイルス感染症の流行により、巣ごもり需要の増加などで家庭用向け精米販売は堅調に推移しましたが、外出自粛等による外食店の需要減などにより業務用向け販売が減少している状況が続いております。

また、物流業界においては、ネット購入の拡大などにより通販向け梱包資材等の販売は堅調に推移しましたが、卸業・製造業向けの梱包資材等の販売は、回復傾向が認められるものの、厳しい状況が続いております。

このような状況下において、当社グループは将来にわたる持続可能なビジネス機会と収益性を確保するために、中期経営方針として「既存事業の強化」、「新規事業・新規市場の基盤構築」、「成長戦略の推進」、「株式上場準備および組織基盤の整備」を掲げ、事業展開を進めてまいりました。

その結果、当年度の連結業績は、売上高50億68百万円（前期比3.5%増）、売上総利益12億69百万円（同比2.1%増）となりました。販売費及び一般管理費は9億52百万円（同比2.7%減）となり、当連結会計年度の営業成果である営業利益は3億16百万円（同比19.7%増）、経常利益は3億24百万円（同比22.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は2億5百万円（同比274.1%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（包装関連事業）

包装関連事業の主要取引先であるコメ流通業界は、少子高齢化による人口減や食の多様化により国内のコメ消費量が毎年減少傾向にある中、新型コロナウイルス感染症の流行拡大による緊急事態宣言が行われ、巣ごもり需要の増加などで家庭用向け販売は堅調に推移しましたが、業務用向け販売は、一部で回復傾向がみられるものの、外出自粛や営業時間短縮等による外食店の需要減などにより販売が減少しました。その結果、売上高は43億22百万円（前期比3.4%増）となり、セグメント利益は3億9百万円（前期比0.6%増）となりました。

（物流梱包事業）

物流梱包事業につきましては、物流業界の市場規模は緩やかな拡大基調が予測され、省力化・自動化に伴う新たな需要が期待できる中、大手ネット通販業者等への販促強化、商品力強化のための新たな仕入れ先の開拓などに取り組み、売上と収益の増強を図っております。新型コロナウイルス感染症の影響を受けている製造業等で物流梱包関連商品の需要は減少してはいますが一部に緩やかな回復傾向がみられ、消費者のネット購入拡大による需要は引き続き堅調に推移しております。その結果、売上高は7億46百万円（前期比3.8%増）となり、セグメント利益は6百万円（前連結会計年度は43百万円の損失）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ3億37百万円増加し、24億70百万円となりました（前連結会計年度末比15.8%増）。これは主に現金及び預金の増加2億22百万円（前連結会計年度末比34.8%増）、第4四半期の売上が好調だったことによる売上債権の増加1億47百万円（前連結会計年度末比15.4%増）等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ36百万円減少し、9億98百万円（前連結会計年度末比3.5%減）となりました。これは主にのれん償却等によるものであります。この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ3億1百万円増加し、34億68百万円（前連結会計年度末比9.5%増）となりました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は前連結会計年度末に比べ2億10百万円増加し、18億40百万円となりました（前連結会計年度末比12.9%増）。これは主に計量包装機の生産に伴う仕入債務が増加したこと等によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ1億10百万円減少し、3億71百万円（前連結会計年度末比23.0%減）となりました。これは主に長期借入金返済により1億28百万円減少したこと等によるものであります。この結

果、負債合計は前連結会計年度末に比べ1億0百万円増加し、22億12百万円（前連結会計年度末比4.7%増）となりました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計額は、前連結会計年度末に比べ2億1百万円増加し、12億56百万円となりました（前連結会計年度末比19.1%増）。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億22百万円増加し、8億63百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は4億24百万円（前年同期は使用した資金1億20百万円）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益3億24百万円（前年同期は1億63百万円）、及び売上債権の増加1億47百万円、仕入債務の増加2億70百万円等により運転資本が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は1百万円（前年同期は使用した資金10百万円）となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入3百万円等により資金が増加したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は2億3百万円（前年同期は使用した資金2億33百万円）となりました。これは主に短期借入金の返済による支出94百万円、及び長期借入金の返済による支出1億28百万円等により資金が減少したことによるものであります。

（4）今後の見通し

新型コロナウイルス感染症が世界規模で拡大し、その収束時期や影響の程度を合理的に予測することは現時点では困難なことから、当社グループでは外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、今後緩やかに回復するものと想定しております。

こうした中、当社グループは、既存事業の強化を図るとともに、市場ニーズの発掘と商材開発、グループ内や業務提携先企業との連携を深めることで新規事業・新規市場の基盤構築を図っていきます。

以上を踏まえ、通期の連結業績見通しにつきましては、売上高52億60百万円（対前期比3.8%増）、営業利益3億34百万円（対前期比5.7%増）、経常利益3億31百万円（対前期比2.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2億6百万円（対前期比0.6%増）を見込んでおります。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化するなど、想定に変化が生じた場合、将来の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実効性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当連結会計年度 (2021年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	640,293	863,061
受取手形及び売掛金	889,129	984,628
電子記録債権	65,176	116,980
商品及び製品	129,094	167,227
仕掛品	262,726	251,886
原材料及び貯蔵品	97,621	71,965
その他	51,336	15,190
貸倒引当金	△2,645	△382
流動資産合計	2,132,732	2,470,557
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	432,309	432,309
減価償却累計額	△168,642	△178,504
建物及び構築物（純額）	263,667	253,805
機械装置及び運搬具	14,078	14,787
減価償却累計額	△10,422	△11,405
機械装置及び運搬具（純額）	3,656	3,382
土地	400,435	400,435
リース資産	52,860	64,370
減価償却累計額	△18,060	△22,094
リース資産（純額）	34,799	42,276
その他	21,614	21,347
減価償却累計額	△12,660	△14,947
その他（純額）	8,954	6,400
有形固定資産合計	711,513	706,300
無形固定資産		
のれん	149,924	115,979
その他	13,743	10,792
無形固定資産合計	163,667	126,771
投資その他の資産		
投資有価証券	123,868	135,020
繰延税金資産	9,406	6,717
その他	25,732	23,552
貸倒引当金	△48	△312
投資その他の資産合計	158,958	164,977
固定資産合計	1,034,139	998,048
資産合計	3,166,871	3,468,606

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当連結会計年度 (2021年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	426,478	459,865
電子記録債務	758,962	996,422
短期借入金	65,827	19,990
1年内返済予定の長期借入金	128,412	128,412
リース債務	15,635	14,496
未払法人税等	81,812	79,341
未払消費税等	53,056	19,645
賞与引当金	48,859	59,043
製品保証引当金	2,097	1,548
その他	48,931	62,233
流動負債合計	1,630,072	1,840,998
固定負債		
長期借入金	416,814	288,402
リース債務	35,435	42,563
退職給付に係る負債	7,792	10,357
資産除去債務	22,008	22,346
繰延税金負債	—	7,595
固定負債合計	482,050	371,263
負債合計	2,112,123	2,212,262
純資産の部		
株主資本		
資本金	80,000	80,000
利益剰余金	1,175,972	1,370,217
自己株式	△228,845	△228,845
株主資本合計	1,027,127	1,221,372
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,620	34,972
その他の包括利益累計額合計	27,620	34,972
純資産合計	1,054,748	1,256,344
負債純資産合計	3,166,871	3,468,606

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
売上高	4,898,835	5,068,291
売上原価	3,655,492	3,799,152
売上総利益	1,243,343	1,269,138
販売費及び一般管理費	978,812	952,533
営業利益	264,530	316,605
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	240	187
保険解約返戻金	289	8,477
為替差益	1,867	651
固定資産売却益	1,051	1,483
その他	809	728
営業外収益合計	4,259	11,529
営業外費用		
支払利息	3,332	2,613
固定資産除却損	0	211
リース解約損	—	564
その他	213	89
営業外費用合計	3,546	3,479
経常利益	265,243	324,655
特別損失		
減損損失	102,157	—
特別損失合計	102,157	—
税金等調整前当期純利益	163,086	324,655
法人税、住民税及び事業税	114,925	112,795
法人税等調整額	△6,733	6,482
法人税等合計	108,191	119,278
当期純利益	54,894	205,377
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	54,894	205,377

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2019年11月1日 至 2020年10月31日）	当連結会計年度 （自 2020年11月1日 至 2021年10月31日）
当期純利益	54,894	205,377
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,579	7,351
その他の包括利益合計	△2,579	7,351
包括利益	52,315	212,728
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	52,315	212,728
非支配株主に係る包括利益	—	—

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2019年11月1日 至 2020年10月31日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	80,000	1,157,259	△228,845	1,008,414
当期変動額				
剰余金の配当		△36,182		△36,182
親会社株主に帰属する当期純利益		54,894		54,894
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）				
当期変動額合計	－	18,712	－	18,712
当期末残高	80,000	1,175,972	△228,845	1,027,127

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	30,200	30,200	1,038,615
当期変動額			
剰余金の配当			△36,182
親会社株主に帰属する当期純利益			54,894
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）	△2,579	△2,579	△2,579
当期変動額合計	△2,579	△2,579	16,132
当期末残高	27,620	27,620	1,054,748

当連結会計年度（自 2020年11月1日 至 2021年10月31日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	80,000	1,175,972	△228,845	1,027,127
当期変動額				
剰余金の配当		△11,133		△11,133
親会社株主に帰属する当期純利益		205,377		205,377
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）				
当期変動額合計	－	194,244	－	194,244
当期末残高	80,000	1,370,217	△228,845	1,221,372

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	27,620	27,620	1,054,748
当期変動額			
剰余金の配当			△11,133
親会社株主に帰属する当期純利益			205,377
株主資本以外の項目の当期変動額 （純額）	7,351	7,351	7,351
当期変動額合計	7,351	7,351	201,595
当期末残高	34,972	34,972	1,256,344

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 (自 2019年11月1日 至 2020年10月31日)	当連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	163,086	324,655
減価償却費	34,171	30,523
減損損失	102,157	—
のれん償却額	57,074	33,945
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,080	△1,999
賞与引当金の増減額（△は減少）	318	10,183
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	2,487	2,564
受取利息及び受取配当金	△241	△188
支払利息	3,332	2,613
売上債権の増減額（△は増加）	△208,597	△147,302
たな卸資産の増減額（△は増加）	48,620	△1,637
未収入金の増減額（△は増加）	△9,167	7,758
前渡金の増減額（△は増加）	△9,911	17,861
仕入債務の増減額（△は減少）	△182,080	270,846
前受金の増減額（△は減少）	△166	11,464
固定資産売却損益（△は益）	△1,051	△1,483
固定資産除却損	0	211
リース解約損	—	564
未払消費税等の増減額（△は減少）	31,068	△33,411
その他	4,786	6,526
小計	34,807	533,699
利息及び配当金の受取額	157	188
利息の支払額	△3,215	△2,582
法人税等の支払額	△152,702	△115,265
法人税等の還付額	—	8,634
営業活動によるキャッシュ・フロー	△120,952	424,673
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,660	△928
有形固定資産の売却による収入	—	3,119
無形固定資産の取得による支出	△283	△128
その他投資等の増減額（△は減少）	△826	△861
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,769	1,200
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	49,159
短期借入金の返済による支出	△50,004	△94,996
長期借入金の返済による支出	△128,412	△128,412
リース債務の返済による支出	△19,143	△17,723
配当金の支払額	△36,182	△11,133
財務活動によるキャッシュ・フロー	△233,741	△203,105
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△365,464	222,768
現金及び現金同等物の期首残高	1,005,757	640,293
現金及び現金同等物の期末残高	640,293	863,061

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

（連結損益計算書関係）

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「受取補償金」は、営業外収益の総額の100分の10以下となったため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「受取補償金」487千円、「その他」322千円は、「その他」809千円として組み替えております。

（連結キャッシュ・フロー計算書関係）

前連結会計年度において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めておりました「未収入金の増減額」、「前受金の増減額」は金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立して表示しております。この表示の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前連結会計年度のキャッシュ・フロー計算書において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に表示していた△4,546千円は、「未収入金の増減額」△9,167千円、「前受金の増減額」△166千円、「その他」4,786千円として組み替えております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、当社を中心に「包装関連事業」及び「物流梱包事業」の2つを報告セグメントとしております。包装関連事業は、包装資材と包装機械で構成されており、包装資材は米穀精米袋を中心とする食品包装資材の企画販売業、包装機械は計量包装機械の企画開発製造及び販売業を行っております。物流梱包事業は、梱包機械・緩衝材等の輸入販売業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則、及び手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年11月1日 至 2020年10月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	包装関連事業	物流梱包事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,179,847	718,988	4,898,835	—	4,898,835
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,310	2,310	△2,310	—
計	4,179,847	721,299	4,901,146	△2,310	4,898,835
セグメント利益又は損失(△)	308,146	△43,615	264,530	—	264,530
セグメント資産	2,495,323	671,547	3,166,871	—	3,166,871
その他の項目					
減価償却費	30,835	3,335	34,171	—	34,171
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	10,806	24,618	35,425	—	35,425

当連結会計年度（自 2020年11月1日 至 2021年10月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	包装関連事業	物流梱包事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,322,062	746,228	5,068,291	-	5,068,291
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	3,401	3,401	△3,401	-
計	4,322,062	749,629	5,071,692	△3,401	5,068,291
セグメント利益	309,958	6,647	316,605	-	316,605
セグメント資産	2,794,067	674,538	3,468,606	-	3,468,606
その他の項目					
減価償却費	24,137	6,386	30,523	-	30,523
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	8,966	15,071	24,037	-	24,037

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年11月1日 至 2020年10月31日）

（単位：千円）

	包装関連事業	物流梱包事業	計	調整額	連結財務諸表 計上額
減損損失	-	102,157	102,157	-	102,157

（注）物流梱包事業において、のれんの減損損失102,157千円を計上しております。

当連結会計年度（自 2020年11月1日 至 2021年10月31日）

（単位：千円）

	包装関連事業	物流梱包事業	計	調整額	連結財務諸表 計上額
減損損失	-	-	-	-	-

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年11月1日 至 2020年10月31日）

（単位：千円）

	包装関連事業	物流梱包事業	計	調整額	連結財務諸表 計上額
当期償却額	—	57,074	57,074	—	57,074
当期末残高	—	149,924	149,924	—	149,924

当連結会計年度（自 2020年11月1日 至 2021年10月31日）

（単位：千円）

	包装関連事業	物流梱包事業	計	調整額	連結財務諸表 計上額
当期償却額	—	33,945	33,945	—	33,945
当期末残高	—	115,979	115,979	—	115,979

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 2019年11月1日 至 2020年10月31日）	当連結会計年度 （自 2020年11月1日 至 2021年10月31日）
1株当たり純資産額	757.93円	902.79円
1株当たり当期純利益	39.45円	147.58円

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、2020年8月12日付で普通株式1株につき25株に分割する株式分割を行っております。上記では、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2019年11月1日 至 2020年10月31日）	当連結会計年度 （自 2020年11月1日 至 2021年10月31日）
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	54,894	205,377
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益（千円）	54,894	205,377
普通株式の期中平均株式数（株）	1,391,625	1,391,625

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （2020年10月31日）	当連結会計年度 （2021年10月31日）
純資産の部の合計額（千円）	1,054,748	1,256,344
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	—	—
（うち非支配株主持分（千円））	（—）	（—）
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	1,054,748	1,256,344
1株当たりの純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式数（株）	1,391,625	1,391,625

（重要な後発事象）

該当事項はありません。